

H15、5、21(水)読売

# 不合格でも学生登録認めます

来年四月開学予定の国際教養大学の創設準備委員会入試専門部会が二十日、都内で開かれた。入学試験で不合格になった場合でも、一定の成績であれば「特別科目等履修生」として、学生登録を認める方針を決めた。履修生が受講した科目は成績評価や単位認定が行われ、成績優秀者については、次年度で正規の二年生となる。同様の制度は多摩大学の「チャレンジ入試」があるが、全国でも少ないという。

履修生制度は、意欲ある学生に入学への道を確保するのが狙い。大学設置準備事務局によると、入学試験で合格できなかった人のうち、成績上位者を補欠合格とする。入学辞退者が出た場合、その人数によって繰り上げ合格となる。

履修生は、繰り上げ合格にならなかった補欠合格者や一定基

## 国際教養大 制度導入へ

準以上の成績を挙げた人が対象。授業は一般学生とともに聴講でき、授業料は納入するが、入学料は原則必要ない。今後、編入学や秋季入学制度と合わせて、学則などを検討する。

このほか、入試専門部会では、一般選抜は二月一日(三教科)と二月十四、十五日(五教科)、三月二十日(英語・小論文)に行うことが了承された。三教科型と五教科型の併願はできない。推薦入学では、県内枠を十人程度設ける。内訳は、学校長推薦が十人程度、自己推薦の交換留学経験者が五人程度となっている。

## 優秀者は正規の2年生に